

9 らんじょうぶがく
濫觴武楽 (町指定文化財～無形民俗文化財) 霊山神社

なんぼくちょう じだい きたばたけあきいえ のりよしんのう りょうぜんじょう
南北朝時代、北畠顕家は、義良親王と霊山城へ入る時
に、奉納した剣の舞を初めとし、太鼓にあわせ、太刀を空
へかざして進む古式ゆかしい舞です。



10 かんとう かかし まい
関東案山子舞 (町指定文化財～無形民俗文化財) 愛宕神社

いま すうひやくねん す
今から数百年もむかし、たくさん住んでいたいのししが、
田や畑をあらしたので、こまった農民が弓でいのししを
退治しました。たいじされたいのししをあわれに思い、
くよう
供養のために猪頭を作り、おどったのが始まりです。



11 しもおおいし ししまい
下大石獅子舞 (町指定文化財～無形民俗文化財) おおいし 大石

えど じだい いせ きょうとけんぶつ
江戸時代のころ、伊勢まいりの帰りに京都見物をした
おおつき さぶろうべえ 子どもへのみやげに、さんびき ししがしら
大槻三郎兵衛が、子どもへのみやげに、三匹の獅子頭を買
い、祇園の神主に獅子舞を習って帰り、この舞を若者に教え
て奉納したのが始まりとされています。



12 きたまた ししまい
北又獅子舞 (町指定文化財～史跡) おおいし 大石

おおはし じんべえ あきた まご
今から160年ほど前、大橋甚兵衛が秋田で孫のおみやげ
に山車人形を買い、獅子舞を教わり帰りました。集落の若者
にこの舞を教えて、近くの貴船神社にまつる神楽にあわせ
てかんせいさせたそうです。

